

第4回 新型コロナウイルス感染症にかかる
3県知事（愛知県・岐阜県・三重県）によるテレビ会議

日時：令和2年5月31日（日）13：30～

場所：県庁3階プレゼンテーションルーム

- 1 あいさつ 鈴木英敬 三重県知事
- 2 コロナ社会における観光再生について
- 3 3県知事共同宣言の発出について

“命”と“経済”の両立をめざす「みえモデル」

コロナと共生せざるを得ない社会において、県民の命と健康を守りながら、暮らしや経済を「再活性化」し、新たな日常の創造へ「前進」するための道筋

みえ県民カビジョン・第三次行動計画(R2~R5)

(3/13) 緊急経済対策
(4/22) 緊急総合対策

↑ 再加速

第1ステージ
感染拡大阻止と
経済の危機回避

(5/29) みえモデル

第2ステージ
感染症収束と
経済回復の両立
“Revitalize”
再活性化

- 医療・検査体制の強化
- 雇用の維持・確保
- 資金繰り・事業継続支援
- 中小企業のBCP策定
- 安全・安心な観光地づくり
- 分断と転轍からの脱却
- テレワーク など

第3ステージ
新たな日常の創造と未
来への進化
“Go Forward”
前進

- サプライチェーン改革
- ワーケーション
- 未来技術の社会実装
- STEAM教育の実践
- 新たな観光スタイルの構築 など

↑ 下支え(再び経済を止めない) ↑

貫く視点

- ①デジタル・トランスフォーメーション
- ②三重の強みの活用
- ③一極集中リスクの軽減と地方創生
- ④SDGsの推進

みんつく予算の活用

令和3年度予算において
対策のアイデアを募集

「再活性化」と「前進」をささえる「医療」

第2波に備えた医療提供体制を万全のものにしなければ、経済再生への道は開けない
○今回の教訓を踏まえた今後の道標の策定(「三重県感染症対策条例(仮称)」制定、
「三重県新型インフルエンザ等対策行動計画」「三重県感染症予防計画」改定) など



社会の変化

「場所」の制約から解放

「新しい生活様式」

経済活動の停滞

感染症・人口集中リスク

分断と転轍の発生

三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会

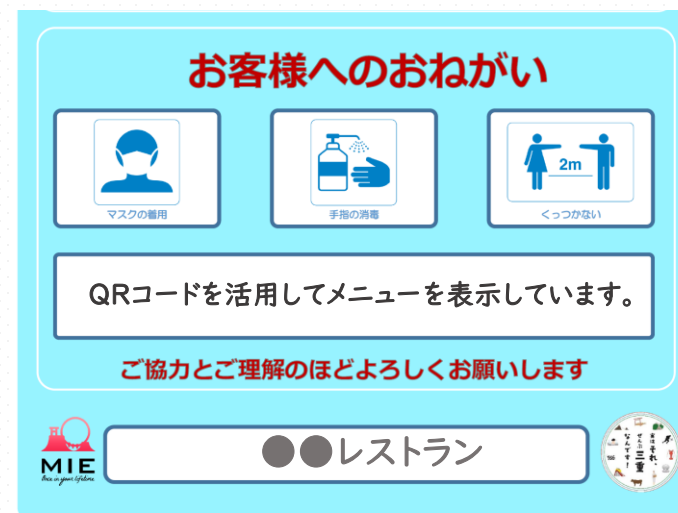


○新型コロナウイルスにより大きな影響をうけている県内観光事業者に対して、営業再開に向けたガイドライン作成の手引きを示し、**安全・安心な観光地**を目指した取組を推進。

ガイドラインの手引きの概要

- 各業種別のガイドラインを基本的に遵守
- 感染症拡大防止対策の徹底による
「安全・安心の確保」
→基本的な考え方や参考となる取組事例を掲載
- 新しい生活様式を踏まえた
「ニューノーマルに対応したおもてなし」
→デジタルを活用した新たな接客スタイルの提案

施設掲示例の作成



施設独自の取組を記載し、コロナ対策の「見える化」を図る

➡ ○ガイドラインの遵守による感染拡大防止対策の徹底を前提として、バスでの県内周遊等を促進。(6月補正予算 6,024万円)



- 新型コロナウイルスの影響により、県内の観光関連産業は長期にわたって休業を強いられており、苦境に立たされている状況が続いている。
- 県内の観光産業の復活のためには、**安全・安心な観光地の復活**に向けて、**段階的に、かつ、速やかに施策を展開**していくことが必要。

緊急対策

（感染拡大の防止）

- 県内観光地における感染拡大の防止
 - 宿泊施設や屋外体験施設を対象とした来県延期のための協力金

（事業継続のための取組）

- ECサイトを活用した県産品の販売
 - 観光三重等での県産品販売キャンペーン
- 事業継続のための各種支援策の活用
 - 持続化給付金
 - 雇用調整助成金 等

県内・国内観光の再開

（県内・国内観光周遊の再開）

- 営業再開に向けたガイドラインの作成支援
- 安全安心の確保と三重県民向けの県内周遊の促進
- 新たな旅行ニーズに対応する人材の育成
 - オンラインセミナー形式での事業者研修

（海外向けプロモーション準備）

- 海外エージェントとの関係の再構築
 - 応援メッセージ動画の制作・配信
- 国内・海外向けデジタル施策の展開
 - ソーシャルリスニングによる分析
 - SNS・動画による情報発信

（その他の取組）

- 受入環境の整備 （AIチャットボットやデジタルサイネージを活用した受入環境整備）
- MICE誘致の推進 （新たな動向を踏まえた取組方針の見直し）
- クルーズ振興 （中長期的な視野での受け入れ体制の整備と誘致活動の再開）

プロモーションの本格展開

（国内プロモーションの本格展開）

- 国のGo To Travel キャンペーンと連携した誘客事業の展開
（スマホでみえ得キャンペーンとの連携、交通事業者との連携）

（海外プロモーションの再開）

- デジタルを活用した海外セールス活動の展開
 - オンラインでの商談、ファムトリップ等の実証実験
- JNTOによる訪日プロモーション

○ これまでに三重県が培ってきたデジタルプロモーションの強みや、国内・海外の事業者とのネットワークを有効に活用し、三重県観光の復活に向けた観光施策を強力に展開。

JR東海のホームページやSNSを活用した3県観光PR動画・写真の発信

3県が連携して、JR東海HP「Japan Highlights Travel」やインスタグラム「@visit.tokai」などで3県観光PR動画や写真を発信。



【東海4県】東海4県 Instagram @visit.tokaiより | 山吹の里 | @mountainblow | 岐阜県 | 井上 | @mountain224 | 美濃川 | @vivi_design | 美濃川 | @vivi_design | 美濃川 | @vivi_design

おうちで旅気分を、美しい風景を。
そんなコンテンツをご用意しました。

動画の再生回数
三重県:51万回
(東海4県で最高)

三重県の動画へ寄せられたコメント
○早く旅行に行きたいです。
○おかげ横丁で食べ歩きがしたいです。
○また賢島に行きたいなあ。

3県の観光振興組織等が協調した、それぞれの公式サイトでの3県PR

愛知県、岐阜県観光連盟及び三重県観光連盟が協調し、それぞれの公式サイトにおいて、3県知事メッセージを掲載するとともに、各県の消費喚起キャンペーンなどを紹介。



提案 今後の観光周遊の本格化を見据え、3県の観光需要喚起、交流促進を加速

○ 3県民の周遊性を向上する交通事業と連携した取組

例えば、

- ・高速道路を活用した3県内周遊促進キャンペーン など

○ 3県観光地への3県民の相互送客を促進する連携した取組

例えば、

- ・3県内で相互に送客を促す宿泊クーポンの配布 など

○ (将来的には)

大都市圏に向けて交通事業と連携した3県共同プロモーションも・・・

コロナ社会における観光の再生に向けた 愛知・岐阜・三重3県知事 共同宣言

5月25日、「緊急事態宣言」が全面解除され、長きにわたるコロナウイルスとの戦いに、ひとまずの節目を迎えました。

これからは、常にウイルスと隣り合わせの「新たな日常」を受け入れ、油断なく感染防止を徹底しながら、社会経済活動を取り戻していくこととなります。

とりわけ、人を集める、人が集まることで成り立ってきた観光産業については、深刻な影響を受けましたが、今後、県内観光、県外からの人の呼び込みへと段階的に取組を移行させていくこととなります。

そこで、観光地の早期再生を目指し、コロナ社会における新たな観光産業の構築に向けて、東海3県が連携し、以下の取組を進めてまいります。

- 1 社会経済圏が深く重なり合っている3県間において、観光を含めた人の移動の6月1日からの緩和
- 2 第2波、第3波の発生抑制に向けた観光施設での感染防止対策の徹底
- 3 コロナ社会における観光地の再生に向けた誘客促進などの取組の情報共有
- 4 3県共同による観光プロモーションの実施

2020年5月31日

愛知県知事 大村 秀章

岐阜県知事 古田 肇

三重県知事 鈴木 英敬